



新年にあたって

参議院議員・薬剤師 神谷政幸

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年1月24日に召集され、6月22日に閉会した第217回通常国会において、厚生労働委員会で2度、消費者問題に関する特別委員会で1度質問に立ちました。令和元年の薬機法改正に伴い、附則に施行後5年を目途として改正内容を検討する規定が設けられたことを受け、厚生労働委員会において薬機法改正に関する審議が行われました。医療用医薬品等の安定供給体制、国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化、医薬品等の品質及び安全性の確保、より活発な創薬が行われる環境の整備等について審議が行われ、2度の質問の機会でほぼ全ての項目について質問できたことは、薬剤師議員として感慨深いものがありました。

また、この度、昨年10月22日、高市内閣において厚生労働大臣政務官（労働・福祉・年金担当）を拝命しました。安心して働く労働政策や国民生活を支える社会保障等、国民の皆さまの生活を生涯にわたって支える厚生労働行政の一翼を担い、政務官として上野賢一郎厚生労働大臣を支え職務を全うできるよう全力で取り組んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の益々のご活躍と、本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。